

令和5年7月28日

こども家庭庁こども家庭審議会ひとり親部会御中

## こどもの貧困問題の抜本的改善に向けたこども大綱・こども家庭庁の

### 取り組みについて

末富 芳（日本大学文理学部教授）

こども家庭審議会こどもの貧困・ひとり親部会の発足に際し、内閣府子供の貧困対策有識者会議「子供の貧困対策に関する大綱の進捗状況及びこども大綱策定に向けての意見（内閣府意見）」をふまえ、こども家庭庁において、こどもの貧困問題の抜本的改善に向け、以下の事項について意見を申し述べます。

特に、我が国のこども政策の基本方針であり、こども大綱策定に際し、内閣府意見後の政府の取り組みの進展もふまえ、改めて共有されるべき重要な点を簡潔にまとめております。

#### 1. こども政策の最優先課題としての「こどもの貧困対策」

- ・こども大綱における最優先課題としての「こどもの貧困」の明記
- ・こども財源の確立とこどもの貧困はじめ困難な状況のこどもへの最優先投資
- ・ひとり親とともにふたり親困窮世帯のこどもも対象とした「こどもの貧困対策」の前提の共有

#### 2. 子どもの権利と当事者等の意見表明・参画を基盤とした「こどもの貧困対策」の推進

- ・こども大綱は、関連部会との情報共有と確認プロセスにより「オールこども家庭審議会」での応援体制を
- ・本部会および「こども大綱」を検討する基本政策部会における、貧困当事者のこども及び家族、支援者等の意見表明・参画の実現（こども・若者いけんプラスの活用、心理的安全性及びプライバシー保護を保ったこども主体のグループディスカッション、当事者・家族や支援者らとのこども政策対話、アドボケイト等）
- ・本部会の実質化のためのワーキンググループ制や「こどもの貧困対策」のためのより良い政策提案につながる交流企画等の検討

### 3. こどもと家族を支える支援体制の抜本的拡充

- ・常勤スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、こども家庭センター、児童相談所と共に、地域でこどもと家族を支える支援団体の持続可能な活動を支える助成拡充などの人的支援体制の拡充。
- ・学校給食・医療無償化のほかに、朝食支援（日本版ブラックファーストクラブ）、低所得世帯のこどもへの高校大学等の受験料・入学金無償化などの、こども自身に届く現物給付の拡充。
- ・児童扶養手当の所得制限改善及び給付額増額、低所得世帯のこどもたちへの児童手当の増額など現金給付の拡充
- ・乳幼児期から若者期までのこどもの生存権を支える年少扶養控除・特定扶養控除の復活・拡充の検討および現金給付・現物給付の抜本的拡充と統合パッケージ化による「わかりやすく行政コストが効率化される効果的なこども応援制度」の検討。

### 4. EBPM 体制、データ連携体制の確立とともに「支援が届かないこども・家庭をゼロに」

- ・国実施調査のこどもの貧困対策への活用体制の強化（特に全国学力・学習状況調査）
- ・こどものデータ連携によるプッシュ型支援・アウトリーチ型支援も活用し、自治体の部局間連携で「支援が届かないこども・家庭をゼロに」を実現するための検証・改善体制の確立
- ・こども家庭庁「こどもの生活状況調査」の定期実施および継続的な調査内容および国指標の改善体制
- ・こども家庭庁による自治体におけるこどもの貧困の実態検証・調査の支援及び「こども計画」反映へのロードマップ整備
- ・こどもの貧困分野の専門家登用による「こどもの貧困対策」の EBPM 体制の強化、こども家庭庁における自治体こどもの貧困実態調査のレビュー・メタ分析体制および「こどもの貧困改善」に効果的な政策の検証等の EBPM 体制の確立、